

令和5年度



夢をもち ともにやりぬく

南っ子

学校だより № 5

9月号

磐田市立磐田南小学校

## 第2学期始業式 校長式辞

8月28日(月)

夏休みは楽しく過ごせましたか。今年の夏休みは、去年までと違い、新型コロナに気を付けながらもいろいろなところに行き、そこでしかできない体験をしてきた人もいると思います。特別なところに行かなくても、家のお手伝いや近所の公園などでの昆虫観察などをして新しい発見をした人もいたのではないのでしょうか。私も田んぼや畑の作業を通して、虫や天気などの様子を見ながら作物を育てる難しさを感じることができました。また、外で過ごしていると日差しや空の色、空気の肌触りなどの変化に気付き、季節が少しずつ変わっていることを実感します。夜になると、秋の虫たちが鳴き声を競い合っています。まだまだ暑い日が続きますが、皆さんもどこかに秋を感じてみてください。

夏休み中、うれしいことがありました。私の住んでいる地域の方から「南小の子供たちは、あいさつや礼儀がとってもいいですね。」と言われたことです。その方の知り合いが南小の近くに住んでいて、南小の子たちが元気なあいさつをすることや横断歩道を渡った後しっかりお礼ができるのをよく見かけるそうです。南っ子の目指す「さわやかあいさつ」「周りに感謝と思いやり」ができていますね。

私は時々考えます。南小学校そして南っ子の皆さんは地域のいろいろな方々に見守られ、支えていただくことで、安心して安全に過ごすことができます。本当にありがたいことです。しかし、どうしたらお礼の気持ちを伝えることができるのでしょうか。地域の方一人一人にお礼を言うて回することはなかなかできません。でも、南っ子の皆さんの元気で明るく礼儀正しい姿を見ていただくことはできます。これからも登下校などで地域の知っている方に会ったら元気よくあいさつをすることで感謝の気持ちを伝えましょう。

さあ、いよいよ二学期が始まります。二学期は、皆さんが一学期や夏休みにつけてきた力を使って、大きく成長するときです。「夢をもち ともにやりぬく 南っ子」皆さん一人一人が「こうなりたい」と思う自分(夢)に向かって、友達と励ましあって、いろいろなことに挑戦してください。

今年度磐田南小学校では、「考えて動く」を一つのテーマにしています。コンピュータやAIが進歩して便利になり、「コンピュータに任せておけば楽!」という考え方もあります。しかし、本当にそれでよいのでしょうか。「自分自身はどう思っているのか?自分はいったい何がしたいのか?」をもっていないと自分らしさがなくなってしまいます。いろいろな情報に流されて、自分を見失ってしまいます。便利な世の中になった分、自分で考え、判断して行動することの意味がより大切になっています。授業や毎日の生活の中で「考えて動く」を意識してみてください。

皆さんの二学期の成長を楽しみにしています。

(校長 松井 信治)